

Capo. 1 A (オ-7°ND)

カレニダ-

C D G E ~ C D G

いろいろなことが起きた。この月が一枚めくるだけで...

忘れることが出来るのなら、どんなに救われるだろう

あなた^Gがまたいた二ヶ月の初め^{En}その頃^{An}にはこの結果が^D

くることさえも想像できずに当り前のように過ごした

なりゆきを E_m 受けとめるだけで...

A_n の
で与えることと同じであった

^Aせめて ^{Em}少しの覚悟さえも

A_n 持っていたから 違ったかも G

1-3.4.1 オープンD

見たくも見られなくもないこのカレンダー修正テープからして

めくる日が来てスッキリするはずがなぜか画像に残り-

あなたから見たこの月の初め、その事実も含めて全部

捨てることがやっぱりできずにビニールに残しておいたかった

新しいカレンダー

ア11に白くてすみこがつくる

せめて自分の予定がたしさん

あいたのつらさが 違ったかも

Capo-D

G

ううにいう

G Am Bm Am G D

Em D G Bm
 今はまだここにいていい

Em Am D G
 同じ生活くりかえしながら

Em D G Bm
 せいかくの人生を築ければいい

Em Am D G
 そんな考え 持ち合わせながら

Em C D G D
 これまで断ってきこえに

Em C D G D
 くりかえす受けてみるほうがいいかも

G Am D Bm
 誘われるうちが花というけれど

G Am D G
 気にしてくれてることだとわかる

G Am D Bm
 たとい陰口があつたとしても

G Am D G
 切り捨てられるよりマシかもしれない

1-MAIL

G Am Bm Am G D

そんなことやってもつまらないなんて

自分にブレーキかけることより

それまでの偏見や先入観捨てて

ニュートラルな心 持ち合わせながら

これまでは聞けなかった忠告も

とりあえず受けてみるほうがいいかも

言われているうちが花というけれど

気にしてくれてることだとわかる

たとえ悪口であつたとしても

切り捨てられるよりマシかもしれない

あすなろ

$O \quad \rightarrow \quad F_n \quad O \quad \rightarrow \quad F_n$
 $C \quad D \quad E_n \quad C \quad D \quad E_n$
 何の心ありて明日は 人の世とついで。

♪ 憧れの人のようになりたいと

BW C₂ BW 2 7
Am₁ Br Am₁ D₂ 6
何にも知らない。23は 思っていたもの

人は誰ひとり同じものではなく

Br OBr Br 2 7
 Ang Br Ang D_7 6
 たくさん生える程 違うものになる

$\frac{0}{C}$ $\frac{2}{b}$ $\frac{7}{g}$ $\frac{p_n}{E_n}$
 で有名なことや 無理なことは

早く見切りをつける

$\begin{matrix} 0 \\ C \end{matrix}$
 $\begin{matrix} 2 \\ D \end{matrix}$
 $\begin{matrix} 7 \\ G \end{matrix}$
 $\begin{matrix} F_m \\ F_n \end{matrix}$

だいたい 17 くらいにして あきらめずに

0 Bm 7
C A- 6
自分の個性を活かして

$$1 - \frac{1}{2} + \frac{1}{4} - \frac{1}{8} + \dots = \frac{2}{3}$$

何の心'ありて明日はわんざとっけいけい

あの人この人 自分と比べて

「どうして自分は…」と 思っていたもの

人は誰ひと、同じものでなく

良いところ磨くほじに輝いてゆける

得意なこと役に立てること

ひとつひとつ多く増やして

この世に一つのはなくてはならぬ。

自分の存在 求めて

Capo. 3 1-2il

Capo. 1 オープンD

新しい気持ちで

A C D E

^Cある晴れた朝 ^{A_n}庭木の上 ^C

^{A_n}見上げる空 ^C若葉揺れる

^A昨日まで ^C吹いていた

^F冷たい風 ^Cすっかりなく ^E

^Aカーテンガン ^C脱いだ

^F袖の隙間 ^Cそよ風 ^E感じ

^{A_n}新しい気持ちで ^{Day}

^G昨日までのこと ^C ^E

^{A_n}もうすぐたこと ^{Day} ^E

^Gいっここ ^{A_n}だけ ^E残し

1-2il + オープンD

陽の光浴び 一瞬ずつに

きらり光る 若葉たちよ

いつから生まれたのか

常緑の中 新入りのように

古い緑たちに 見守られるように

茎も明るく

新しい気持ちで 始まる今日から

ここからのことだけ 考えてゆきたい

新緑の季節に 思いを込めて

移り変わる日々に 見失わないように

Capo. 5 1-2IL(G)

Capo. 3 オープンD

ウキウキする夏空

G C C G G C C G D

夏空^G見ていると^Dウキウキ^Gしてくるのほなせ^{D G D D}ムシムシ^Gするこの頃^{Am}これからどうなるか^D心配^Gする傍らでも^{Am}テンションは上がる^{D G}幼い頃^{Am}の思い出^G 一日昆虫採集^{D G}今でも高原^{Am}に行けば^Gあの頃に出会える^{D G}何か^Gする^Cこと^Gでなく特別な^Gこと^Cでなく^G

1-2IL+オープンD

夏空見ているとワクワクしてくるのはなぜ

セルリアンブルーの空 浮かぶ雲見るだけで

気持ち良い事 いろんな事 妄想 浮かべる

若い頃の思い出 見下ろす雲の上に

両手を上げた姿が くっきり見えることもあった

粗ってたわけではなく

珍しいことではなく

何かすることではなく

特別なことではなく

砂を踏みしめて

Bm 5 7 0 Bm 5 7 0
Am F G C Am F G C
Bm Am 0 C 7 G Bm Am

白い砂浜 見下ろすあたり

Bm Am 0 7 G Bm Am
黒く小さく 見える動きをみつけ

0 C Bm 5 5'
誰かいいい 波打ち際 12
0 5' 7 G 9.10 0
靴の跡歩く 左に 波の音か

Bm 5
★ 足跡、くつきりついて

7 0
すいになくなる

Bm 5
Am F
あなたと いうれるこのとき

7 0
いっまで だろうか

★★

薄曇りの空 どこからか照らされて

影も見えない 砂を踏みしめて

いつの間にか 裸足にナリ

脱いだ 靴を手にしながら波の上を

★ ~ ★★

秋になつて

G Am Bm Am G D7

秋になつて 雨も上がつて
涼しくなった 風も吹いてきた

ふとした時 起る感情
秋の心と書いた「愁(うれい)」が

さみしい気持ちと物悲しい気持ちが
何でもない僕でも 詩人にさせる

今心の底に 流れて消えてゆく
思いを捕まえてようとしても
二・三度音をとめて引いてく 波のように
次第に小さくなってゆく

秋になつて 空も高く
薄くなった 雲を見つめる

ふとした時に なんだか寂しい
気持ちになつて 思いにふける

何かを感じて センチになる気持ちが
何でもない僕でも 詩人にさせる

今心の底に 流れて消えてゆく
思いを捕まえたところで
言葉にしたあとは なんだか違うニヤンス
次第に変わってゆく

Capo. 5 1-2il Em

Capo. 0 1-2il Am

Am

また はじめよう

Am G Em F G Am E7

Em D Bm C D Em B7

Am G Em
Em D Bm

今日までしてまた

振り向くこともなく

Am Em G D Em Bm

ひたすらに進むだけで

F C G D Am Em B7

ただがむしゃらに

Am C G G7
Em G D B7
今日は少しだけ後ろを振り向いて

そして立ち止まり過去にすがってみる

Am Em
Em D Bm
こんなこともあった あんなこともあった

今思い返すとなんてきまり悪いのだろう

Am Em
Em D Bm
だからこんな中で これだけのことでまた

それも全て受け止め 新しくまたはじめよう

全ては自分の中で

良いと決めて生きてきた

誰に相談もしないで

ただがむしゃらに

今日はひとり一人の空間

そして目をつぶり沈黙の中で

こんなこともあった あんなこともあった

今思い返すとなんてきまり悪いのだろう

だからこんな中で これだけのことでまた

それも全て受け止め 新しくまたはじめよう

オープンD Capr.D.

D

かくあるべし

0 7 5 7
D A G A

「どうしてあいつはいつもこれができるのかな」
耳にする今日の口々に「かくあるべし」

自分たちの考えにそぐわない人を避けて
弱みも見つけて優位に立ちたい気持ちかなへか

仕事だけでなく教育でも
自分たちの理想押し付けている
仕立て上げるように一つの姿に
変えてゆくことが本当にいいのかな

いくつになってもいつでもどこでも
言われつづけている今日も「かくあるべし」
それを受けるための自分の性格
損してる気もするけどそれ以外のストレスもない

「自分のルールだけで偉くはない」となると
それとなく今日も言われている「かくあるべし」
他人の面倒見ることは難しいもの
確かに大切なわけだけど思うようにいかない

仕事だけでなく生活でも
いろんな気を遣って抑えている
あるかまじに思うまじに
やめてゆくことは本当にむずかしい

いくつになってもいつでもどこでも
言われつづけている今日も「かくあるべし」
かたじけなく言う方の親れを思うと
言われているのが気楽でいう側の気をする

手塩にかけて

Bm 7 5 5 0

Am G F Dm C

0

C

7

G

打算いっけい いっくしみに満ちた

5

F

0

C

7

G

その本気つは 行き渡ってゆくだろう

0

C

7

G

手塩にかけて 作り上げたものは

5

F

0

C

7

G

きっといつか伝わってくれるだろう

Bm

5

Am

F

この言葉で あってるかな

7

G

0

C

思っている このエアース

Bm

7

Am

G

若くして 感じたあの

5

F

5

Dm

0

C

これしか 言えなかった

愛さだけで 突き進むといつか

思い通りに ならないもどかしさ

気持ちえれず 続けてゆくことで

本気の願.. 見つかるかもしれない..

このやりかた あってるかな

精一杯の パフォーマンス

やり終えたう ほんの少しの

これか できなかった

Capo. 5 C

この冬は暖かった

C An Dn G

ソファの柔らかな^{An}手すり^{Dn}と枕^Gにしてまぶたの裏側^{An} 明るさ^{Dn}を感じる^Gまじろみの中で^Cからだ^{Dn}の中もゆずかに上下に^G動いてる^{Gg}思い起こせば^C通り過ぎた^{Dn}F この冬は暖かった^Gずっと前から^{An}出会って^Fなかった^{Gg}懐かしい人^{An} たくさん^F出会えた^G

まぶたの赤... 色がやがて昔の時

映し出す鮮明に 懐かしい風景を

まじろみの中でからだの中も

確かに前後に動いてる

思い起こせば 通り過ぎた

この冬は暖かった

すでにこの世で会えなくなってる

懐かしい人 夢で出会えた

Capo. 0 ノーマル G

音が聞こえるほどにガーンとした

^{Gmaj7}
G Am D G D G Am D G D

^G音が聞こえるほどに ^{Am}ガーンとした ^D

^Cただ激しすぎる ^{Am}思い込みだった ^D

^G考えていたことは ^{Am}絶対正しいと ^D

^C信じて疑わな... ^{Am}ようになってた ^D

^{Em}広くみれる力を ^{Am}持ち合わせていたなら ^D ^{B7}

^{Em}凝り固まらなくて ^D視線合わせてまただろう ^C ^{Am} ^D ^G

^Cこれが一番 ^Dいいことだと ^{Am}思っていた ^D ^G

面倒な人には成りたくない

思っていたけれど いつのまにか

自分だけの感情に任せて

物事進める人になっていた

ひと思っているゆとりを 持ち合わせていたなら

独りよがりではなく 周りの声聞けただろう

これが一番いいことだと 思っていた